19世紀英文学の研究、英語学習教材作成

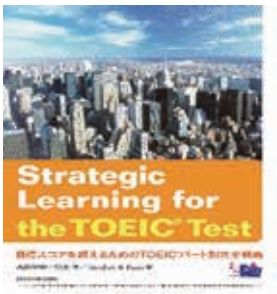
研究内容

学術的な研究内容としては、おもにイギリスのヴィクトリア朝中期から後期に書かれた小説を当時のリアリズム小説やセンセーション小説といったジャンルとの関連で研究している。また、英語教育分野における研究においては、大学生や社会人のための英語資格の取得や読解力の養成を目的とした英語学習教材の作成を行っている。

地域・産学連携の可能性

地域連携·産学連携の可能性としては、英語教育分野における教材作成や英語資格取得のための講座などを通して、生涯学習や企業における社内研修の可能性などが考えられる。また、今後、大学受験の英語科目における外部検定試験の利用に伴い、高校における出前授業などにおいても、英語資格対策を内容とする講座はますます重要となってくると思われる。

The Best Approach to the TOEIC®Test
森田光宏・鈴木淳・Stephen B. Ryan 著、松柏社、2011年



Strategic Learning for the TOEIC®Test
森田光宏・鈴木淳・Stephen B. Ryan 著、松柏社、2015年

Innovative Japanese Companies
鈴木淳・高橋哲徳・高橋史朗・Simon Cooke 編著、松柏社、2017年

総合教育センター　英文学、英語教材作成

鈴木 淳 SUZUKI Jun

教授、博士（文学）

KeyWord　英語、英文学、英語資格試験